

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 **企画文化局**

基本計画	柱	アジアのなかで成長する
	大項目	アジアの巨大都市と連携・競争できる広域連携の推進
	取組みの方針	都市圏の発展に向けた連携の強化

担当局 / 総務担当課名	企画文化局	企画課
連絡先	582 - 2153	

21年度計画

-3-(1)-

施策名 **下関市との連携**

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	本市と下関市の両市長会談や関門地域行政連絡会議、「関門地域の未来を考える研究会」における関門地域のあり方についての調査・研究などを通じて、下関市との連携を推進します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	都市圏の発展に向けた連携の強化

施策の成果	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)		現状値		平成21年度	目標値	
	年度	平成20年度	計画	実績		年度	平成25年度
関門地域の新規連携事業累積数	年度	平成20年度	計画	実績	2 事業	年度	平成25年度
	現状値	1事業	計画	実績	2 事業	目標値	5事業
	達成度		計画	実績	100.0 %	目標値	
	年度		計画	実績		年度	
	現状値		計画	実績	%	目標値	
	達成度		計画	実績	%	目標値	
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]		事業費	1,800 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
			うち一般財源	1,800 千円	5,400 千円		

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	A	新規連携事業として、「大学コンソーシアム関門」の設立(学術振興連携)、清張ウォークの開催(松本清張生誕100年記念事業での連携)を行うなど、連携事業の増加が見られるように、下関市との関係は良好に保たれています。
		今後の局施策の方向性

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。

施策名 下関市との連携

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度: 執行額]					21年度			21年度
広域行政推進事業			1,800 千円	5,400 千円	裁量的経費			ウ	
事業費のうち一般財源			1,800 千円						
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									
事業費のうち一般財源									

局施策全体のコスト	21年度		
	事業費	人件費(目安)	
	1,800 千円	5,400 千円	
施策全体の事業費のうち一般財源	1,800 千円		

局施策の
21年度評価

A

【局施策評価】
 A: 大変良い状況にある
 B: 概ね良い状況にある
 C: 概ね良い状況とまでは言えない
 D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	企画文化局	政策調整課
連絡先	582-2156	

基本計画	柱	アジアのなかで成長する
	大項目	アジアの巨大都市と連携・競争できる広域連携の推進
	取組みの方針	都市圏の発展に向けた連携の強化
	主要施策	下関市との連携

関連計画	
事業期間	
経費区分	裁量的経費

-3-(1)-

事業名	広域行政推進事業		
事業の概要	何(誰)をどのよう状態にしたいのか。	関門海峡という共通の財産を持つ下関市と北九州市は、古くから密接な関係を持ちながら一体的な都市圏・経済圏を形成している。特に近年では、市民交流や産学官連携など、さまざまな分野での連携・交流が活発に行われている。両市では、両市長会談において、これまで培ってきた多くの連携事業を「関門の5連携」として整理し、今後も積極的に連携事業に取り組むこととしています。	
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	成果
		下関市との連携	関門地域の新規連携事業累積数

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由	
		当初計画	・両市長会談 1回 ・行政連絡会議 1回 ・担当者会議 3回					
	現状	・両市長会談 1回 ・行政連絡会議 1回 ・担当者会議 3回						
実施状況	成果・活動指標 (上段: 指標名、下段: 指標設定の考え方)					平成21年度	目標	
	両市長会談の開催					計画	1回	年度
	新しい連携の取り組みについて、平成21年12月に12回目の両市長会談を開催し、地産地消の推進や市民交流の推進、関門地域振興会議(仮称)の設置などについて合意しました。今後も引き続き関門連携を推進していくことを確認しています。					実績	1回	内容
	関門地域の新規連携事業累積数					計画	2回	年度
コスト	相互の連絡調整及び情報交換を行う「関門地域行政連絡会議」において、産学官での連携の可能性や協議を行い、さまざまな分野において新規連携事業を円滑かつ効果的に実施しています。					実績	2回	内容
						達成度	100.0%	
単年度計画	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度: 執行額]					事業費	1,800千円	事業にかかった人件費の目安(21年度) 5,400千円
						うち一般財源	1,800千円	

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	平成21年11月22日に第12回関門両市長会談を開催し、中尾下関市長と北橋北九州市長が「関門の5連携」に基づき連携事業を推進することに合意し、更なる関門連携の推進を確認しました。また、新規連携事業として、「大学コンソーシアム関門」の設立(学術振興連携)や清張ウォーク(松本清張生誕100年記念事業での連携)を下関市にて行いました。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	下関市と本市は、長年にわたって連携を強化してきており、県境を越えてさまざまな連携を行うことで、対外的にも特色のある地域として知られています。また、両市民の交流も深く、「関門」をテーマとした市民活動も活発化しており、広域連携としての有効性は高くなっています。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	さまざまな連携事業を多く実現しており、両市が互いに効果を得る事業を実施することで、Win - Winの関係を継続し、良好な関係を保っている。事務局職員は兼務であり、過少人員で最大限の調整業務に従事しており、経済性・効率性も高いレベルにあります。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	一体的な経済圏・市民生活圏を長年にわたって形成しており、今後も維持発展していくためには、両市が積極的に連携を推進していく必要があります。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	3	広域行政連携という枠組みでは市が主体となっているが、既に多くの分野で民間交流等が進んでいます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	「関門地域」として、関門海峡という共通の財産を持ち、古くから密接な関係を持ちながら一体的な都市圏・経済圏を形成しており、特に近年では、市民交流や産学官連携といったが活発に行われています。今後も両市のさまざまな分野での連携・交流がさらに加速するよう、連携の推進及び連絡調整を行っていく必要があります。